

クラスの活動内容報告

園芸1Bクラスは、授業計画に従った授業の受講、圃場での実習、校外学習などの活動はおこなってきました。

しかし、これは、当然の学業です。クラスとしての自主的な活動を取り上げるとすれば、唯一の活動が「忘年懇親会の実施」です。

京葉学園では、コロナ前は、教職員も参加する懇親会を年に数回実施していました。

しかしコロナ禍による休校期間はもちろん、今年度の授業再開後もマスク着用、「密閉」「密集」「密接」の三密回避、黙食などの指導が徹底されました。

しかしこれでは、何のために学校に来ているのかわからなくなります。

学園では、クラス内のコミュニケーションを活発におこなうことで、学習効果・学習意欲が向上し、学生たちの孤立感がなくなり、生活の質の向上につながり、喜びを感じることができず。

このような閉塞感に満ちた現状を打破するため、教職員は除き、有志が参加する忘年懇親会を12月8日の授業後に実施しました。千葉駅近くの飲食店で実施した懇親会には、学生25名中19名が参加し、楽しく盛り上がりました。

参加者全員から、是非、このような場を引き続き、設けて欲しいとの要望が寄せられています。

コロナ感染の拡大は続いておりますが、コロナワクチンの接種も進んでおり、飲食店もさまざまな予防措置を講じています。

今後は「WITH コロナ」による日常生活を取り戻すことが、私たちにとっての課題です。

ご承知のとおり、欧米の市民生活では、もうマスク着用はありません。

他方、学園内では、常にマスク着用。そのため、教員やクラスメートの名前と顔が一致せず、誰が誰だかわからない状況もありました。こんなバカな学園生活はあり得ません。

そのため、1Bクラスでは「マスクをはずしての担当教員と班ごとの写真撮影」を7月に行いました。これによって、はじめて教員やクラスメートの顔が分かった人がほとんどでした。